

BLENDER オーナーズマニュアル

BLENDER をお買い上げありがとうございます。

- ①インプットにギターやベース等を接続します。
- ②アウトプットにアンプ等を接続します。
- ③センドにはドライミックスさせたいエフェクターのインプットに接続します。
- ④リターンにはドライミックスさせたいエフェクターのアウトプットを接続します。
- ⑤センドに送られるシグナルをフィルターSWで未加工（OFF）かフィルターを通す（ON）かの選択をします。
- ⑥フィルタースイッチがONの時はカットフィルターが有効になり、カットタイプを選びます。
- ⑦FREQ ノブでフィルターの周波数を決める
センドに送るシグナルにハイカット・フィルター（高音域を削る）を施すことができます。左に回すほど高音が削られます。
センドに送るシグナルにローカット・フィルター（低音域を削る）を施すことができます。右に回すほど低音が削られます。
- ⑧BLEND ノブにより、ドライ音とリターン音のバランスを調整します。
- ⑨Phase（フェイズ）スイッチ
リターンの位相を決定するスイッチです。
ドライ音とセンド・リターンに接続されたエフェクターの位相が異なる場合に切り替えてください。
並列に接続された機器の位相が異なる場合には、同じ周波数の音が打ち消されてしまいイコライザーで任意の周波数をカットしたような状態になります。極端な例ですと、2つのエフェクターをバイパスさせた状態においては無音になってしまいます。
- ⑩LEVEL ノブにより、エフェクトのONとOFFのバランスを合わせます。

センド・リターンに何も接続していない場合は内部にてバイパスされますので、ハイパスフィルターやローパスフィルターとして使ったり、ドライ音をブレンドしてシェルビングタイプのイコライザーとしてもお使いになれます。

注意

内蔵電池はお使いいただけませんので、外部パワーサプライにてお使いください。